

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第2回理事会 開催日：6月19日。出席者：石原会長，ほか41名。

1. 鉄鋼二次製品生産設備調査委員会および委員長委嘱の件

3年ごとに行われる鉄鋼二次製品生産設備調査のため委員会を設けることを決定した。

委員長 木下専務理事

総事業費 697万円

2. 正会員，外国会員会費値上げの件

下記のとおり会員会費値上げを決定し，昭和60年1月より実施することになった。

現 行

正会員 入会金 900円 会費 9,000円

外国会員 〃 800円 〃 8,000円

改 正

正会員 入会金 据置 会費 9,800円

外国会員 〃 900円 〃 9,800円

3. 常務委員，共同研究会特殊鋼部会長委嘱，解嘱の件

委嘱 岸田壽夫君（大同特殊鋼）

解嘱 藤原達雄君（ 〃 ）

上記のとおり委嘱，解嘱を決定した。

企 画 委 員 会

第2回委員会 開催日：6月18日。出席者：濤崎委員長，ほか22名。

1. 各国専務理事会議報告

木下専務理事報告 5月1日ロンドンで標記会議が開催された。各国の国際会議の予定が披露され，当方からは来年の庄延国際会議（鋼管）の説明を行った。

2. 学生対策WG発足について

鉄鋼業および鉄鋼技術に対し理工学系の学生諸君にどのようにしたらいつそう関心を持たせることができるか，本会としてこの問題にいかに対処するのがよいか等学生対策を検討するため，企画委員会の中に学生対策WGを設置することになった。委員は大学等にあつては若手の助教授，助手，講師，大学院学生等，企業にあつては入社後3年以内くらいの若手技術職員（専門を問わず）である。

第3回委員会 開催日：7月20日。出席者：濤崎委員長，ほか18名。

1. 秋季講演大会役員業務分担について

昭和59年10月9日～11日広島大学において第108回講演大会が開催されるが，各種行事の役員分担を決定し，理事会に諮ることになった。

2. TC17/SC17会議開催の件

TC17/SC17（線材・線）の幹事国（オーストラリア）

より次の日程で，日本開催を要請され，ISO鉄鋼部会SC17分科会で検討した結果開催に同意した。

TC17/SC17/WG1 1985年4月8日～9日

TC17/SC17/WG2 1985年4月10日～11日

TC17/SC17 1985年4月12日

3. 学術会議会員の推薦方法についての対応策について

学術会議会員の選出制度の大幅変更に伴い，本会での推薦方法等ルールづくりを検討するため学術会議対策臨時委員会を設置することを決定した。

編 集 委 員 会

第5回和文会誌分科会 開催日：7月13日。出席者：宮川主査，ほか31名。

1. 28件の論文審査報告がなされ，掲載決定15件，照会后掲載可6件，修正依頼2件，その他5件であつた。

2. 「鉄と鋼」第70年第16号（12月号）に論文9件，技術報告5件掲載決定した。

第5回欧文会誌分科会 開催日：7月6日。出席者：大森主査，ほか17名。

1. 16件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可3件，修正依頼9件，返却1件であつた。また，1件のNew Technologyにつき審査報告がなされ，修正依頼であつた。

第2回編集運営委員会 開催日：7月20日。出席者：宮川委員長，ほか15名。

1. 昭和59年度ヘンダーソン賞候補論文として15件があげられ，各論文に対して5名ずつの評価者が選定された。

2. 昭和59年度秋季講演大会，図書の刊行状況などについて報告があり，討議がなされた。

共 同 研 究 会

第1回運営委員会 開催日：6月19日。出席者：石原重利新会長，ほか22名。

石原新会長の司会で59年度第1回共研運営委員会が開催された。内容としては，(i)第1回共研総務幹事会の報告，(ii)58年度共研予算，実績報告，(iii)58年度共研活動報告について審議を行った。58年度の予算の実行率は94.8%であつた。

その他の議題として，(イ)共研資料の公開の件，(ロ)部会長の交代（従来は各会社で世襲されている）についての提案，(ハ)分科会から部会への昇格等の提案があり，各部会・分科会幹事会で検討していただき次回総務幹事会でまとめをしてほしい旨新会長より要望があつた。